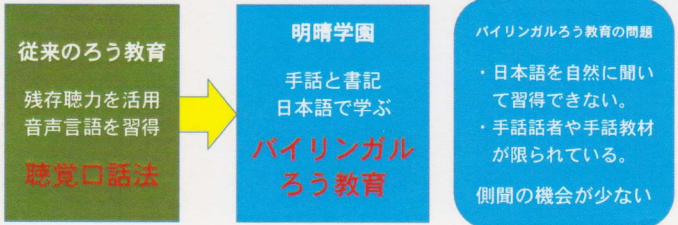


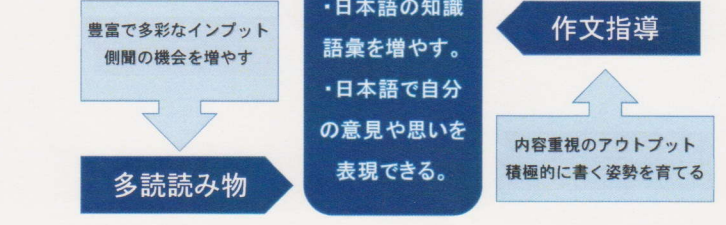
ろう児の日本語を豊かにするために ～多読読み物と作文指導～

長谷部倫子
(明晴学園)

1. ろう児の日本語



2. 実践の目的



3. 実践内容

多読読み物

自分で読める本をたくさん読む。
みんなと同じ空間で読む。

オリジナルの多読読み物

1. 一冊に一つの内容を収録する。
2. フォントは教科書体。縦書き。
3. 分かち書きをする。小らまでの漢字にルビを振って使用する。
4. 通常カタカナで表記するものはレベル0でもカタカナで表記する。
5. 多様な題材を取り上げる。

多読授業の様子

選ぶ

読む

話す

表す

書く

多読読み物 メリット・デメリット

- 日本語が苦手な子でも自分のペースで読める。
- 必ず読める本があるので、自信がつく。
- 知らず知らずのうちに読書力が上がる。
- 面白かった本を友だちに紹介したり、薦めたりするうちに話し合い活動がおこり、読みが深まる。
- 著作権の問題
- 手作りは大変。
- 適切な語、漢字、文法の基準。
- 日本語のレベル、読みやすさなど何度も訂正が必要。
- 評価が難しい。
- 成果が見えない。
- 語彙の拡大までには至らなかった。長期的な取り組みが必要。

作文指導

作文指導の内容

- 毎週1回、15分間で書く。
- 課題は書記日本語で出す。(手話に翻訳しない。)
- 自分で読んで問題を理解することから始める。
- テーマと評価基準を提示する。
- テーマ幅広く、具体的なもの
- 評価基準
 - ①内容について
 - ②文字数
 - ③文法・形式・語彙など

月日	タイトル	課題(評価基準)
5/25	私の好きなスポーツ	説明と理由
6/8	運動会	書きだしを選んで書く。
6/22	私の学習方法	学習場所、時間、手順、自分の思いを書き。
6/29	理想の傘	発想力
7/6	シダ植物とコケ植物	事象と感じたこと
7/13	私の好きな有名人	特徴と理由
7月	修学旅行	
9/14	ニュース原稿「サメ出沒」	情報を正確に
10/5	四コマ漫画「父のダイエツ」	四コマ漫画の吹き出しにセリフを、原稿用紙に物語を書く。
10/27	究極の選択「千匹の蚊が一匹のまむしか」	二つの選択肢から一つを選び、選んだ理由を書く。
11/2	「このスニーカーは」	イラストを見てストーリーを作る。
12/21	保護者面談	悩んでいるお母さんにアドバイスをする。
2/8	スキー教室	スキー教室の思い出
2/18	組体操は禁止すべきか。	組体操を読んで賛成か反対かを述べる。

作文指導 結果と考察

- 書くことへのハードルが下がり、書く習慣が身についた。
- 考えること、書くことが楽しくなった。
- 課題が明確だと書きやすい。
- 課題の得手不得手、好き嫌いを知ることができた。
- 出来事作文は同じパターンになりやすい。
- 感想の種類が少ない。→本当に感動していないことは書きにくい。

作文を書くことは大好きだ。でも時間が短かったので何を書くのかは早く決めないといけないのだ。そんな中大変だったのは、考え方を問われることだ。逆にやったことの感想は自分の中に感じたことや気持ちなど書けばいいので書きやすかった。考え方を問われてどっちがいいと迷ったらあつという間で終わるのだ。「組体操は禁止すべきか。」は苦戦しました。でも書くのが楽しい。月曜日になったら「今日、テーマは何だろうね。」と楽しみにしていたのだ。(「作文学習について」生徒アンケートより)

4. 結果と考察

「語彙の習得に結びついたとは言えない。」
「評価が難しい。」
→長期的な取り組みが必要。

- 日本語学習へのハードルが下がった。
- 自発的な読みや書きの態度が身についた。

→付随的な日本語学習

オリジナル多読読み物
日本語学習誌 <https://tshongakuhon.jindo.com/>

引用文献
栗野真紀子・川本かずこ・松田緑華著 (2012) 『日本語教師のための多読授業入門』アスク出版
澤 (2010) 「聴覚障害児の作文における格助詞の使用と語用・深層格の視点から」 『音声言語学51』日本音声言語学会 pp. 19-25